

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	学校安全対策事業			事業コード	0891
担当課等	所属名	教育委員会 学校教育課		担当係名	
課長名	教育委員会事務局 学校教育課	担当者名	照井 大道	電話番号	7337

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	将来を担う次世代の育成	コード 1
	基本事業		コード 1	関連予算 費目名		一般会計 2款 1項10目 交通安全対策事業(006-01)
	特記事項					
事業期間	○ 単年度      ● 単年度繰返      ○ 期間限定複数年度	⇒ (開始年度 平成元年度～)				
事務事業の概要	小学校新入学児童へ安全教育副読本を配布することと、交通安全教室実施校を指定し、交通安全教育を行い、児童生徒の事故防止に努める					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡市立小・中学校に在学する児童生徒の交通安全教育の強化充実を図るために実施している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
議会・各地区から事故防止のための交通安全施設等の改善要望に併せ、児童生徒に対する交通安全指導を充実について要望されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しあどうか						
自動車保有台数の増加に伴い、盛岡市内の交通量は増加してきている。年々道路整備はなされているが、今後も交通量は増えていくと思われる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①盛岡市立小中学校の児童生徒 ②盛岡市立小中学校の教職員	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市立小中学校の児童生徒数	単位 人
				B. 盛岡市立小中学校の教職員数	
				C.	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①小学校新入学児童に安全教育副読本を配布した。 ②交通安全教室実施校のうち10校を指定校とし、消耗品費の補助を行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同じ内容を実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 交通安全教室実施の指定校数	単位 校
				B. 安全教育副読本の配布数	
				C.	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	①新入学児童に安全教育副読本を配布し、交通安全教育の充実を図り、交通事故防止に努める。 ②小中学校が交通安全教育を実施し、児童生徒の交通事故防止に努める。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 交通事故発生件数 【指標の性格: ○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位 件
				B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	学力の向上が図られる 心身共に健全育成が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較(単位: ポイント) 問題行動調査(不登校)の出現率(単位: ポイント)	

## 2. 事務事業の実施状況(続き)

### ⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市立小中学校の児童生徒数	人	23,678	23,482	23,144	23,140	23,146	23,146	26年度 23,146
対象 指標B	盛岡市立小中学校の教職員数	人	1,649	1,661	1,661	1,674	1,674	1,674	26年度 1,674
対象 指標C									年度
活動 指標A	交通安全教室実施の指定校数	校	10	10	10	10	10	10	26年度 10
活動 指標B	安全教育副読本の配布数	部	2,565	2,541	2,492	2,492	2,491	2,491	26年度 2,491
活動 指標C									年度
成果 指標A	交通事故発生件数	件	68	57	45	63	45	45	26年度 45
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

### ⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	929	886	882	877	872	872	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	929	886	882	877	872	872	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	929	886	882	877	872	872	*****
	延べ業務時間数	時間	12	12	12	12	12	12	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	48	48	48	48	48	48	*****
	トータルコスト (A)+(B)	千円	977	934	930	925	920	920	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 安全教育を推進していくことは、健康で逞しく生きていく人材を育成することに結びついている。		
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由: 安全教育は教育課程に位置づけられており妥当である。		
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由: 安全教育は教育課程に位置づけられており、現状のままで妥当である。		
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができない <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由: 現在の意図で妥当である。		
効率性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容: 交通安全教育の充実により、前年度より、更に少ない発生件数に減少させることが可能と考えられるため		
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容: 安全教育への意識が低下し、交通事故が増加するおそれがある。		
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名:  ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？
公平性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 必要最小限の事業費で実施しており、削減できない。		
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 事業推進のための事務にかかる人件費であり、必要最小限であるため、削減できない。		
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 児童生徒の安全は全員に保障されるべきであり、受益者負担はなじまない。		
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 児童生徒の安全は全員に保障されるべきであり、受益者負担はなじまない。		

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 ／ 改善 方 向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 交通事故は、市内のいたるところで発生しており、交通安全教室指定校のみの実施ではなく、児童生徒を交通事故から守るための対策として取組みを強化する。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 交通安全教室指定校は学校付近の交通量や交通状況等を考慮して指定している。

#### 5. 課長意見

一 次 評 価	(1)一次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)											
	<table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td><input checked="" type="radio"/> 妥当</td> <td><input type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="radio"/> 妥当</td> <td><input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="radio"/> 妥当</td> <td><input type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="radio"/> 妥当</td> <td><input type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="radio"/> 妥当	<input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="radio"/> 妥当	<input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり											
今 後 の 方 向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)												
	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td>→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td>→</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	→	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	→	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
方向付けの理由と改革改善の内容													
交通事故の発生件数が増えているため、警察や交通安全協会などと協力し、交通安全教室の実施回数を増やすなど、交通安全教育の充実強化を図る必要がある。													